

がん化学療法プロトコール

氏名: _____
 ID: _____
 体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

プロトコール名 **ベバシズマブ+Weekly PTX**

対象疾患 進行・再発乳がん

診療科 外科

施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

	投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
day1,15					
①	生食	250mL			血管確保とフラッシュ
②	グラニセトロン バッグ	3mg/50mL (1袋)		混注	15分で点滴静注
	デキサート	6.6mg/2mL (2A)			
	ファモチジン	20mg/20mL (1A)			
	ポララミン	5mg/mL(1A)			
③	ベバシズマブ	10mg/kg		生食100mL	90分かけて(特記事項参照) 総量100mLで調製
④	パクリタキセル	80mg/m ²		5%糖250mL	1時間で点滴静注
day8					
①	生食	250mL			血管確保とフラッシュ
②	グラニセトロン バッグ	3mg/50mL (1袋)		混注	15分で点滴静注
	デキサート	6.6mg/2mL (2A)			
	ファモチジン	20mg/20mL (1A)			
	ポララミン	5mg/mL(1A)			
③	パクリタキセル	80mg/m ²		5%糖250mL	1時間で点滴静注

2 投与方法の図式(day1.15)

時間 (hour)	1	2	3	4	5
①生食	→				
②グラニセトロンなど	→				
③ベバシズマブ	→				
④パクリタキセル		→			

3 投与スケジュール

1クール28日間。PTXはday1、8、15に点滴。ベバシズマブはday1、15に点滴。

4 特記事項

- ・ ベバシズマブは初回90分で投与。忍容性が良好であれば60分、その次は30分まで短縮可能。
- ・ パクリタキセルはアルコールに過敏な方には慎重に投与。
- ・ パクリタキセルはnonDEHPのルートで点滴を行う。
- ・ パクリタキセルの投与にはインラインフィルター(0.22 μ m以下)を使用すること。
- ・ パクリタキセル投与の際は投与速度を補正する。